

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

日立建機

日立建機アメリカが新社屋オープン

顧客や販売代理店に提案力とサポート体制強化 従業員増員！米州事業における独自展開を加速 2025年に米州売上収益3,000億円以上をめざす

米州市場で独自展開

日立建機株式会社(社長：先崎 正文氏)の米州地域統括会社であるHitachi Construction Machinery Americas Inc. (アメリカ合衆国ジョージア州ニューナン、CEO：Al Quinn(アル・クイン)氏、以下、日立建機アメリカ)は2月19日、ジョージア州ニューナンの敷地内に新社屋を開設した。

日立建機アメリカは、環境に配慮して設計・建設され、最新の設備が整った新社屋を起点に、ユーザーや販売代理店に対する提案力とサポート体制を強化し、米州事業の独自展開を加速する。

日立建機アメリカ 営業・サービス強化

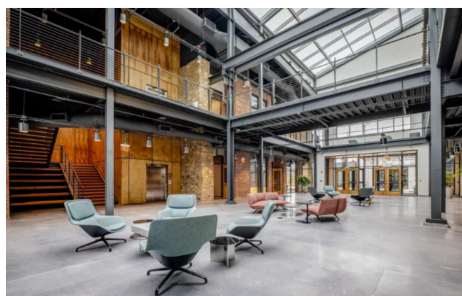
日立建機グループは、2022年3月より、米州全域で自社のネットワークを通じて、新車販売からバリューチェーン事業までの独自展開を開始し、世界最大の米州市場で事業展開を加速している。

日立建機アメリカは、ホイールローダに加え、コンパクト・コンストラク

ションの油圧ショベル、マイニング向けの超大型油圧ショベル、ダンプトラックの全てを扱う地域統括会社として権限・機能を強化し、営業やサービス部門の機能を中心に、従業員数は3倍以上に増加した。

充実した新社屋

新社屋は、ホイールローダの組立・製造工場、部品倉庫の建物を解体し、その構造や廃材を一部利活用して2棟を建設。営業や部品・サービス、管理



オフィス棟の内観

業務従事者が集結するオフィス棟と、ユーザーや販売代理店向けに製品の取り扱いや保守・サービスの研修を実施するトレーニング棟を開設した。

オフィス棟には従業員の執務スペースに加え、コマンドセンターを設置し、サービスソリューションConSiteで建



設・鉱山機械の稼働状況をモニタリングする。

さらに、日立建機アメリカは部品再生やレンタル事業も統括し、サポート体制、サービスメニューを充実させていく。



コマンドセンター

す執務スペース。

- ・サービスソリューションConSiteで建設・鉱山機械の稼働状況をモニタリングするコマンドセンター。
- ・従来比3倍に増設したトレーニング棟。
- ・既存建屋で使われていたコンクリート、鉄、木材などをリサイクルして有効活用。
- ・太陽光を62%遮断する一方、可視光線を70%透過するガラスを採用、自然光を取り入れた空間づくり。
- ・管理システムがエネルギー消費と温度変化を監視・最適化し、エネルギー効率を向上。

■新社屋の概要

【オフィス棟】

構造・階数：鉄骨造、地上2階建て
面積：延床面積 8,187㎡

収容人数：約1,250人

主な機能・役割：執務室、会議室、役員室、コマンドセンター。

【トレーニング棟】

構造・階数：鉄骨造、地上2階建て
面積：延床面積 2,572㎡

主な機能・役割：コンストラクション製品のデモ、マイニング製品のドライビングシミュレータ、故障診断トレーニングなど。

今後の展望

2023年度から始まった日立建機グループの中期経営計画「BUILDING THE FUTURE 2025 未来を創れ」では、経営戦略の4つの柱の中に「米州事業の拡大」を掲げており、日立建機アメリカは、新社屋を起点に、販売代理店や利用者への提案力、サポートを強化し、2025年度に独自展開分のみで米州売上収益3,000億円以上をめざす。

■新社屋の特長

- ・従業員間のコミュニケーションを促

(※資料提供：日立建機)



■日立建機URL→ <https://www.hitachicm.com/global/jp/>